

■取組事例Ⅰ 市町村【倶知安町】

「GIGAスクール」 × 「校務DX」

倶知安町の取り組み



令和6年5月22日
倶知安町教育委員会 学校教育課



●「校務」×「GIGAスクール」事例① ～専用ポータルによる情報発信のクラウド化～

- GIGAアカウントでのログイン判定により、児童生徒は自分の学級ポータル・教職員は職員室ポータルを表示
- 校務端末でも、GIGA端末でも、（※自宅の個人端末でも）同一のポータルを表示、必要な情報・ツールをまとめてメニュー化
- ポータルはGoogleサイトでの作成なので、編集権限があれば誰でもいつでも更新可能



←職員室ポータル
職員連絡・学校スケジュール等を一元表示
教職員全員が編集可能



クラスポータル→
学級写真・日直・
目標や時間割・
クラスの作品展
などを掲載

主に担任が
編集可能

効果

- 時間割・学級通信等のクラウド化による、校務DX・ペーパーレス化・働き方改革に寄与
- 情報をひとまとめにすることで「ここを見れば全部載ってる!」→タブレット利用率の向上に
- 時間割・学級連絡の掲載で、経常的なタブレットの持ち帰りが習慣に
- メニューの中に教育委員会への申請フォームも含んでおり、フィルタリング解除・タブレット故障の申請などをオンライン化

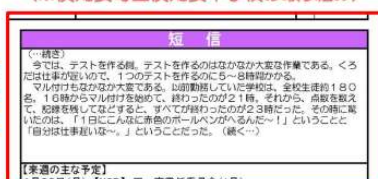


●「校務」×「GIGAスクール」事例② ～会議等のクラウド化による働き方改革～

- ・ 朝会での資料配布を廃止・日報をクラウド配信
- ・ 日報内でコミュニケーションを図ることも、職員間の情報共有を行っている。

(※倶知安町立倶知安中学校の取り組み)

職員のひとことコーナーを展開
職員間のコミュニケーション活性化
につなげている



日報をクラウド共有し、
朝会時には各自が画面確認
会議のスムーズな進行が可能に
※倶知安中学校

効果

- 情報クラウド化による、校務DX・ペーパーレス化・働き方改革に寄与
- 職員会議資料の作成・配布にかかる時間・実際の会議時間を他の校務・教務に充てる事ができるようになった。
- 情報を常に最新にリプレイスでき、かつ配布不要・誰でも更新できるので、変更があった際の作業が大幅に削減された



●「校務」×「GIGAスクール」事例③ ～新しいツールの利用①チャット機能の活用～

- ・ チャットツール等でのコミュニケーション利用も、教職員からの利用希望が多く活性化しており、教育委員会としても積極支援している。
- ・ 教員からの「チャット機能の積極活用」の希望をもとに、管理職等との協議を経て、令和5年度「Googleチャット」の開放を教職員アカウントで実施。校務・研修等でどう活用できるかを模索・検討してきた。
- ・ 校務実用の中で、「オンラインコミュニケーションツールの問題点」を教職員にも認識してもらい、その結果を児童・生徒にも還元させる枠組み作りを行ったうえで、希望校は、児童・生徒側にもチャット機能を解放している。

効果

- Google ChatなどのGIGA環境を、日頃の校務で積極活用することが、先生の働き方改革にもつながり、その成果もGIGA・授業につなげることができた。(GIGAから校務→校務からGIGAへの再還元)
- チャット機能で瞬時に多くの先生に情報共有ができるので、会議・コミュニケーションがスムーズになった。



各ポータルにはメニュー化済

研修等で、円滑な
コミュニケーションツールとして活用

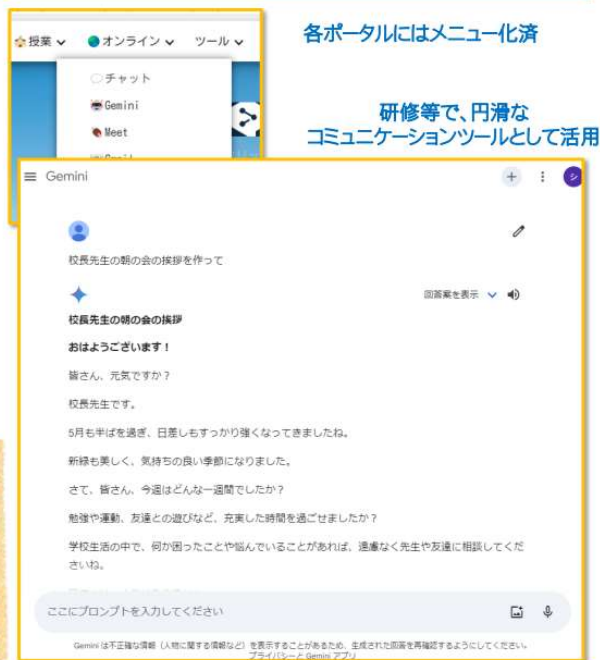


「校務」×「GIGAスクール」事例④ ～新しいツールの利用②生成AI機能の活用に向けて～

- 「生成AI活用」に向けて、「Google Gemini」の開放を教職員アカウントで試験実施中。まずは生成AIについて、体験していただく場を教職員に開放中。
- まだ児童・生徒には開放はしていないが、授業活用の際は、短時間での開放も可能なように柔軟な設定が可能。
- 新しい使用方法が見つかる場面も・・・

効果

- ファクトチェックの重要性も認識してもらい、どのような活用ができるのかを教職員で確認できている。
- 業務効率改善が期待できる。
- 校務活用での結果を児童・生徒に還元
(情報活用能力を育む教育・これからの時代に必要な資質・能力の向上)



「校務」×「GIGAスクール」事例⑤ ～クラウド共同・同時編集による改善・ペーパーレス改善～

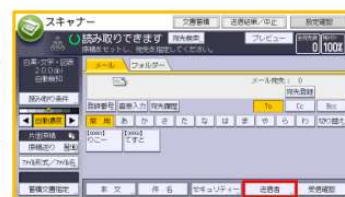
- 時間割作成をクラウド化し、学級担任・学年担任・教務担当間の調整をなくし、すべて1つのスプレッドシートに共同編集することで調整を可能に。
- 長期休暇時の動静調査をクラウド化、スプレッドシートに共同編集することで調整を可能に。
- 学校→教育委員会のコロナ報告・インフル報告をクラウドで随時入力可能に。全校横断集計したデータを学校に即時フィードバック。各学校の推移・流行の兆しなどが学校・教育委員会で把握できた。
- 学校間FAX利用の削減（複合機にメール直接送信設定）

効果

- 情報クラウド化による、校務DX・ペーパーレス化・働き方改革に寄与
- クラウドツールの強みである「共同編集」「同時編集」を最大限活用し、デジタルならではの利便性を発揮している。

↑IMPORTRANGE関数によるインフルエンザ全校横断集計

複合機に直接メール宛先を設定し
スキャナをメール発信可能に





●「校務」×「GIGAスクール」事例⑥ ～児童・生徒とのコミュニケーション活性化～

- ・学級ポータル内に専用の相談フォームを設置
- ・心・体・友達同士の悩みなどを常に受付・フォローできる体制を構築している

(※全校の取り組み)

効果

- 児童・生徒とのコミュニケーションをデジタルで支援
- クラウドツールを使うことで、複数の教員で共有・対応が可能
- 児童・生徒の心の声を取りこぼさない支援が可能



↑あのねポスト(※倶知安小学校)



↑あなたのきもちをおしえてね(※東小学校)



●GIGA導入による効果①～「数字で見るICT利用数」

倶知安町(学校施設全体)で使用されている1日の使用量



1台当たり3.8時間

1日のタブレット端末の使用時間

717GB/1日

1日のインターネット総通信量



8365問

ドリル教材

1日あたり問題総回答数

1288ページ

デジタル教科書

1日あたり総閲覧ページ数

